

## 荻外荘の暫定開放を祝いました！

3月14日（土曜日）、荻外荘（荻窪2-43-20）の敷地南側を、みどりの空間として暫定開放することに合わせ、荻外荘に長く住まわれていた近衛節子さんや多くの来賓、地域の方々など500名ほどが集まり、荻窪の新たな憩いの場の開園を祝いました。

貴重な屋敷林のみどりがあり、さらに歴史的・文化的な価値の高い荻外荘の南側部分の園路や芝生化の工事が終了し、本日、荻窪の新たなみどり豊かな憩いの場、くつろぎの場としてオープンしました。10時から、開園セレモニーが行われ、田中良区長のあいさつや首相を務めた近衛文麿の二男で、平成24年に亡くなった近衛通隆氏の妻である節子さんも参加し、多くの来場者とともに、この日の開園を祝いました。

近衛節子さんは、「荻外荘は、主人が生前から行く先を案じていましたので、地域に公園として引き継がれていくことになり、たいへん嬉しく思っています。」とあいさつしました。

また、式典終了後、田中区長は、「荻外荘を文化財としての価値と昭和の記憶的な価値との両面から、大切にしていく。そのため、近衛家に伝わる資料を所有し管理している公益財団法人陽明文庫（理事長・近衛忠輝）と協力していくことや、国の文化財指定（史跡）を目指していくこと。さらに、昭和15年7月に、当時の首相だった近衛文麿が、東条英機や松岡洋右などを集めて組閣を行い、後に荻窪会談と呼ばれた、その舞台となった客間を含む建物を移築し、当時の状態に復元していきたい」と話しました。

南側部分の開放は、午前9時から午後5時まで。青々とした芝生の空間のみで、一段高くなった場所にある荻外荘の建物を望むことができます。広々とした空間は、地域のイベントにも活用されることになっています。



### 【報道機関問合せ先】

都市整備部みどり公園課:03-3312-2111（代表）